

平成27年度9月補正予算案について

(平成27年9月29日提出予定)

9月補正予算案は、当初予算編成後において生じた情勢の変化に伴い緊急に措置しなければならないものに対応するため、一般会計補正予算（第3号）案として編成した。

【1】 予算規模

(単位：百万円)

区 分	補正前予算額	補 正 額	補正後予算額
一 般 会 計	3,288,625	▲29	3,288,597

(各表においては、端数処理の関係上、合計と内訳が一致しない場合がある。)

【2】 補正予算の内訳

1 歳 出

(1) 性質別内訳

(単位：百万円、%)

区 分	補正前予算額	補 正 額	補正後予算額	構成比
義 務 的 経 費	1,229,408	1	1,229,408	37.4
人 件 費	846,013	1	846,014	25.7
扶 助 費	53,701	0	53,701	1.7
公 債 費	329,693	0	329,693	10.0
税 関 連 歳 出	693,352	0	693,352	21.1
建 設 事 業 費	192,915	▲118	192,798	5.9
国 庫 補 助	117,747	▲118	117,629	3.6
単 独	75,168	0	75,168	2.3
一 般 施 策 経 費	1,172,951	88	1,173,039	35.6
貸 付 金	419,898	0	419,898	12.8
補 助 金 等	600,292	24	600,316	18.2
積 立 金	40,663	0	40,663	1.2
そ の 他	112,097	65	112,162	3.4
歳 出 合 計	3,288,625	▲29	3,288,597	100.0
う ち 一 般 歳 出	2,224,917	▲29	2,224,889	67.7

※一般歳出は、公債費や積立金などを除いたもの。

(2) 部局別内訳

(単位：百万円、%)

部 局 名	補正前予算額	補 正 額	補正後予算額	構成比
政策企画部	8,802	▲232	8,570	0.2
総務部	36,346	▲22	36,324	1.1
財務部	1,061,754	0	1,061,754	32.3
府民文化部	121,652	50	121,702	3.7
福祉部	472,388	▲32	472,356	14.3
健康医療部	94,429	▲3	94,426	2.9
商工労働部	440,427	20	440,447	13.4
環境農林水産部	18,533	214	18,747	0.6
都市整備部	172,245	0	172,245	5.2
住宅まちづくり部	8,708	0	8,708	0.3
公安委員会	272,063	0	272,063	8.3
教育委員会	581,279	▲24	581,255	17.7
計	3,288,625	▲29	3,288,597	100.0

※政策企画部には、旧大阪府市大都市局予算を含む。

2 歳入

(単位：百万円、%)

区 分	補正前予算額	補 正 額	補正後予算額	構成比
府 税	1,396,157	0	1,396,157	42.5
地方消費税清算金	303,571	0	303,571	9.2
地方譲与税	145,725	0	145,725	4.4
地方特例交付金	4,200	0	4,200	0.1
地方交付税	252,000	0	252,000	7.7
国庫支出金	232,204	205	232,409	7.1
府 債	334,993	0	334,993	10.2
通常債	89,493	0	89,493	2.7
行政改革推進債	9,000	0	9,000	0.3
減収補填債	31,500	0	31,500	1.0
臨時財政対策債	205,000	0	205,000	6.2
そ の 他	619,775	▲233	619,542	18.8
貸付金元利収入	421,285	0	421,285	12.8
財政調整基金	59,933	▲270	59,663	1.8
そ の 他	138,557	37	138,594	4.2
歳入合計	3,288,625	▲29	3,288,597	100.0

○ 補正後の財政調整基金残高（27年度末見込み）

1,035 億円

【3】補正項目

(単位：千円)

○ まち・ひと・しごとの創生に向けた「総合戦略」の先行的実施 (地方創生先行型交付金上乘せ分) 147,571

・大阪府市医療戦略推進事業費(「スマートエイジング・シティ」の具体化) 119,781 【政策企画部】

人口減少・超高齢社会に対応するまちづくりであるスマートエイジング・シティの実現に向けた取組みを促進するため、「食」の視点と ICT の活用を通じ、健康食・療養食などを高齢者等に提供する新たな仕組づくりや、ICカードに記録した医療・健康情報を多機関で共有できるシステムの開発など、健康寿命の延伸に資するモデル事業を実施する。

・次世代がん治療法 BNCT 推進事業費 7,790 【政策企画部】

次世代のがん治療法であるホウ素中性子捕捉療法(BNCT)の実用化を見据え、医療実施に必要となる専門人材の育成・確保を図り、大阪におけるBNCTの医療・研究拠点化を推進する。

・ハートフル企業農の参入促進 20,000 【環境農林水産部】

農業分野における障がい者の就労・雇用を促進するため、農業、福祉、経営などの点で先行事業者が培ってきた指導者育成に係るノウハウの集約や、中空構造栽培槽を用いたイチゴ栽培技術のハートフルアグリへの導入可能性検証、シンポジウムによる情報発信等を行う。

○ 地域の防災拠点等への再生可能エネルギー設備の導入 【再生可能エネルギー等導入推進基金】 34,986

【総務部、福祉部、健康医療部、環境農林水産部、教育委員会】

「再生可能エネルギー等導入推進基金」を活用し、災害等の非常時に地域の防災拠点となる公園において街路灯等の導入を促進する。

(市町村施設:4市町23施設)公園に追加設置(152,751千円)

(府有施設:10施設)保健所、高等学校等における太陽光発電設備の入札減(▲117,765千円)

○ 自殺対策の強化 36,653 【健康医療部】

国が創設した「地域自殺対策強化交付金」を活用し、新たに大学生や妊産婦等を対象とした自殺対策事業を実施するとともに、民間団体や市町村と連携した人材育成や相談事業など、地域における自殺対策を強化する。

○ UIJターンの促進

20,336

【商工労働部】

新たにプロフェッショナル人材戦略拠点を設置し、企業経営、販路開拓、事業再生や専門技術などの実績を有する経験豊富な人材の中小企業におけるニーズの明確化、採用サポートを実施するとともに、金融機関等と情報共有等の連携を図り、地域全体の人材戦略コーディネート役として、大阪産業の成長に結びつける。

○ 大和川線整備事業における工法の変更

0

〔債務負担行為の補正 15,479,818〕

【都市整備部】

大和川線常磐東開削トンネル工事の工法変更(地下水対策としての凍結工法、立坑安定化対策としての転倒防止部材の追加等)に伴い、債務負担行為の限度額を補正。

〈債務負担行為:平成27～31年度 15,479,818千円〉

・補正額の内訳

現契約の平成28年度以降の残額分 10,496,484千円

工法変更に伴う増額分 4,983,334千円

○ 新労務単価の運用に係る特例措置の実施

0

〔債務負担行為の補正 11,457,225〕

【都市整備部】

国からの要請を踏まえ、本府においても「平成27年2月から適用する公共工事設計労務単価(新労務単価)」の運用に係る特例措置を実施するため、債務負担行為の限度額等を補正。

・寝屋川水系改良費

浸水被害を軽減するため、寝屋川北部地下河川守口調節池築造工事を実施。

〈債務負担行為:平成27～31年度 11,457,225千円〉

・補正額の内訳

現契約の平成28年度以降の残額分 11,428,000千円

新労務単価の運用に係る特例措置実施に伴う増額分 29,225千円

○ ラグビーワールドカップ2019招致事業費

50,000

〔債務負担行為の設定 100,000〕

【府民文化部】

花園ラグビー場をはじめ、全国12会場で平成31年に開催する「ラグビーワールドカップ2019」の開催準備費用として、「ラグビーワールドカップ2019組織委員会」に対する開催都市分担金(東大阪市と折半)。

〈債務負担行為:平成27～29年度 1億円〉

・開催時期:2019(平成31)年9月～10月(約6週間)

・出場国数:日本代表チームを含む20ヵ国

- **国家戦略特区推進事業費(外国人滞在施設経営事業)** 5,724
【政策企画部】
国家戦略特別区域外国人滞在施設経営事業の実施に伴い、許認可情報システムの改修を行う。

- **森林環境税導入のための広報・準備経費** 41,149
【環境農林水産部】
森林環境税の導入(平成 28 年 4 月予定)にあたり、府民に対し、制度概要等について広く周知するための広報事業を行うとともに、市町村において必要となる徴税システム改修等の準備経費を交付する。

- **政令市との連携の推進** 8,399
【政策企画部】
政令指定都市である大阪市と堺市との連携を推進するための、大阪戦略調整会議や政令市連携室の運営等に要する経費。

- **新たな大都市制度関係費** ▲373,399
【政策企画部】
府市共同で設置した大阪府市大都市局の運営に要する経費について、局の廃止に伴い減額を行う。